

アロハな日々よ。

A : akahi 思いやり
L : lokahi 調和
O : `olu `olu 喜び
H : ha `aha `a 謙虚
A : ahonui 忍耐

平成26年(2014)10月、ハワイ州ホノルル市・郡と茅ヶ崎市の姉妹都市協定が締結しました。

平成23年(2011)からは、ワールド・インビテーション・フラ・フェスティバルの日本大会が茅ヶ崎で開催されるなど、これまでも両市は交流を深めてきました。

茅ヶ崎もその温暖な気候、清澄な空気、穏やかな街並みがリゾート地として広く親しまれる地です。ホノルル市とは「海」「スポーツ」

「明るさ」のイメージで共通点を持ち、それが姉妹都市締結へとつながりました。

ワイキキはハワイ語で「水の湧くところ」の意味であるように、もともとは湿地帯であり、ハワイが独立国であった19世紀末まではハワイ王朝の保養地でした。現在はホノルル市最大のリゾート地であると同時に、活気ある繁華街として季節を問わず世界各国から多くの観光客が訪れます。

ところで、ハワイといえばアロハ。アロハはご承知のとおり、こんにちは、さようなら、の挨拶です。でも、ただの挨拶よりももう少し深い意味がこめられているようです。アルファベットを分解すると、冒頭のような意味もこめられるし、「ア ロ」は「前 後」、「ハ」が「息」。息を生命の象徴と考えれば、生命の前後、すなわち生きていく過程。その道のりでの人と人との豊かな愛情と敬意があふれる挨拶といえるでしょう。



No Rain, No Rainbow.

[ハワイのことわざ]

ハワイのことわざに、No Rain, No Rainbow. というのがあります。雨が降らなければ、虹を見ることもない。

日本のことわざにも、たとえば「朝の来ない夜はない」「冬来たりなば春遠からじ」「夜まさに明けなんとして益々暗し」などの類語がありますが、ちょっとニュアンスを異にしている気もします。今は苦しいけれど、がんばれ、という「苦しさ」

や「克己」のほうよりもRainbowに重点が置かれているような。

雨(ちょっとつらいこと)のあとには虹(きれいなハッピー)がある。そんな明るさ、朗らかさにあふれている気がします。それは茅ヶ崎の風土にもとてもふさわしいのです。

アロハ、
それはこころの
回復力。

